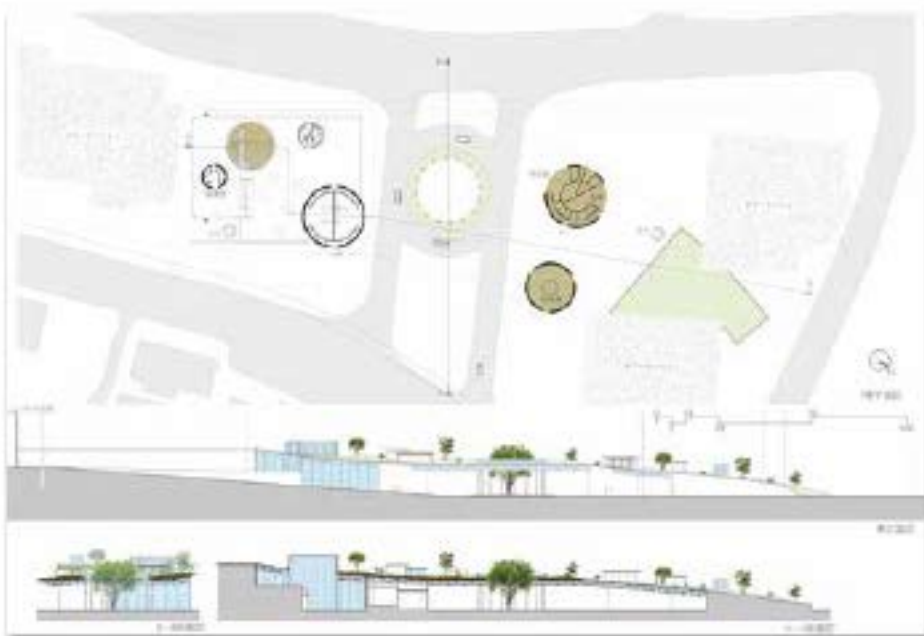




## ユーカリの丘

石川 晃太 (いしかわ こうた)  
千葉県立 市川工業高等学校 建築科



ユーカリが丘は千葉県佐倉市にあり「自然と都市機能の調和」をキーワードに都市計画工事が進行中の街である。しかし、駅から半径300m以内に5棟の高層マンションが建ち並び、そのマンションの間を商業施設が埋め、周辺とは異なるボリュームが存在している。2016年には現在ある商業施設が移転し、大型商業施設が誕生する。

本計画では、移転する商業施設跡地に、多くの人が自然と集まる「ユーカリの丘」を提案する。

### 開 行

佐倉市ユーカリが丘のマンション谷間の商業施設移転跡地に人々の集う緩い勾配の緑の丘を作り出すという計画。人工地盤下部にはランダムな大きさの6つ円形シャフトが点在し、託児スペースやシアター、駐輪場などの機能を持つと同時に人工地盤を支える構造体ともなっている。壁のような商業施設のボリュームが駅前の街を分断していたという問題意識をふまえ、歩車分離した丘に転換するという素敵な提案。丘の中心には地上部分に光を落とす円形の開口があり、これが下部ではロータリーになっているなど形一つ一つに意味を持たせており、まじめなアプローチに好感が持てる。模型もドーナツ型の小さなお店と緑の様子がよく表現されていて楽しそうな雰囲気伝わってくる。

模型が提案範囲の丘に限定されていたのだが、マンションのボリュームも表現することで、囲まれた対比の中での効果がよく現れたのではないが、託児施設は上部の方が気持ちよいのではなど様々な意見が出た伸び代のある作品。

ガウディのグエル公園を訪れた時の気持ちよさを思い起こされた。

(審査委員：神成 健)